

個性を生かす地域づくりに 向けた取組みについて



作成年月日	令和7年4月16日
作成部局名	企画部地域振興課

目次

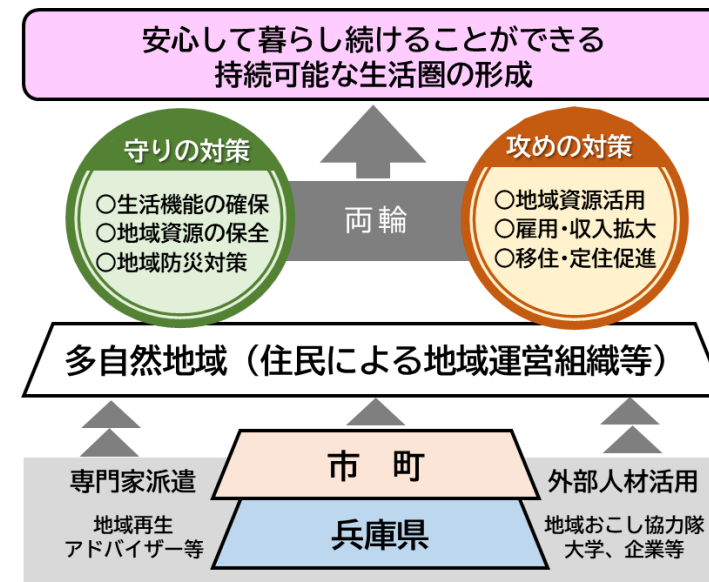
- 1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進.....P 3
- 2 高校生・受験生自習室プロジェクトの推進.....P 6
- 3 多様な地域資源の活用.....P 7



1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進

(1) 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの概要

- ・ H20～小規模集落対策「地域再生大作戦」の成果や課題を踏まえ、R5～本プロジェクトを始動
- ・ 都市部を含む37市町へ対象を拡大、広域的に支え合う地域運営組織を構築し、持続可能な生活圏の形成を目指す
- ・ 県は市町への専門的支援と広域的支援を担い、県と市町の重層的な支援体制のもとプロジェクトを推進



プロジェクト名	地域再生大作戦 (H20～R4)
対象地域	小規模集落 約900集落
対象市町	都市部を除く29市町 (対象外：神戸、阪神北、東播磨管内12市町)
支援対象単位	小規模集落の維持・活性化に向けた単発・部分的な地域
役割分担	県が主導
県	小規模集落に県が直接支援
市町	-

【問題・課題】

人口減少の更なる進展で
地域づくりに限界

小規模集落が
3倍に急増
(都市部でも増加)

個々の集落での**地域運営**や**担い手の枯渇**

プロジェクト名	持続可能な多自然地域づくりプロジェクト (R5～R7)
対象地域	多自然地域の 全集落 約 3,000集落
対象市町	都市部を含む37市町 (対象外：尼崎市、芦屋市、伊丹市、播磨町の4市町)
支援対象単位	旧小学校区等の 広域的な地域運営組織等 の面的な地域
役割分担	県と市町の 重層的支援体制
県	市町に対する 広域的、専門的支援
市町	地域への伴走支援

1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進

(2) 市町による伴走支援体制の確立に向けた支援

- ・ 熟度やニーズに合わせ自由度が高い事業費補助、市町職員の人材不足対策として人件費補助の両輪で支援
- ・ 特定地域づくり事業協同組合の設立による地域づくり人材の確保や移住・定住を支援
- ・ 大学や企業等との連携による外部人材活用を促進するための支援を実施

※金額は事業費上限、R7は予定

①「持続可能な生活圏」形成支援事業〔事業費補助〕（対象：多自然地域37市町）

市町の総合的・戦略的な集落対策、地域対策等の立ち上げ等について3年間合計1,000万円（県1/2補助）を支援

【取組状況】18市町〔R5～①南あわじ市、②神戸市、③多可町、④神河町、R6～⑤西脇市、⑥加西市、⑦豊岡市、⑧丹波篠山市、⑨淡路市、R7～9市町〕

フェーズ高

【集落対策】

⇒話し合いの場づくり、主体的活動、地域づくりビジョン策定

【地域運営体制の構築】

⇒地域運営組織等の体制構築
多様な取組の実践

【持続可能な生活圏形成】

⇒住民自治の確立
・生活機能の確保 ・地域資源の保全
・雇用拡大 ・6次産業化 等

②市町地域伴走支援体制整備事業〔人件費補助〕（対象：過疎地域等を有する17市町）

市町の地域伴走支援体制の立ち上げについて3年間平均約1,400万円（県1/2補助）を支援

【取組状況】8市町〔R5～①洲本市、②香美町、R6～③多可町、④新温泉町、⑤丹波市、R7～3市町〕

③マルチワーク組合支援事業〔検討・設立等補助〕（対象：過疎地域等を有する17市町ほか）

組合の構想検討100万円（県1/2補助）、組合設立200万円（県1/4補助）、組合独自事業100万円（県1/4補助）を支援

【取組状況】5市町〔R4設立：香美町、淡路市、R6設立：丹波篠山市、R7構想検討：丹波市、宍粟市〕

④地域×大学×企業の「ひょうご絆プロジェクト」〔活動費補助〕（対象：多自然地域37市町）

地域、大学、企業の連携による地域課題解決に資する活動を支援（2者連携25万円、3者連携37.5万円 最大3年間）

【取組状況】15市町〔R5～①加古川市2、②稲美町、③佐用町、④豊岡市、⑤香美町、⑥丹波市2、⑦洲本市3、⑧南あわじ市3、※R5終了⑨多可町、※⑩宍粟市、※⑪上郡町、※⑫淡路市、R6～⑬西脇市、⑭加西市、R7～1市町〕

市町への補助事業

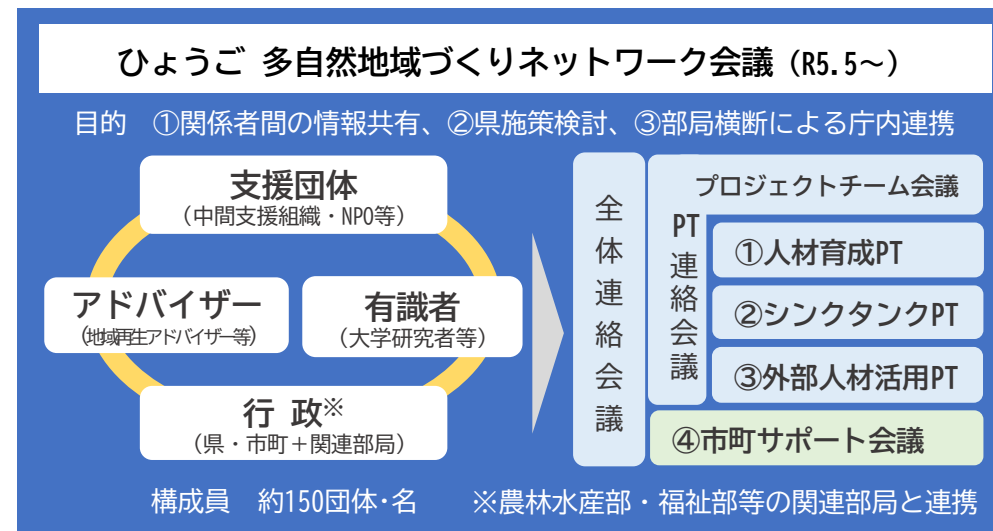
地域等への補助事業

延べ46市町で取組（予定）

1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進

(3) 県による広域的・専門的支援

- ・効果的な県の支援策の検討、市町支援の実施
(ひょうご多自然地域づくりネットワーク会議の運営)
 - ①市町職員や地域再生アドバイザー向け研修の企画・実施
 - ②地域づくり支援者向けツールの開発
 - ③関係人口の創出・拡大に向けた仕組みづくり
- ・市町からの相談等に対応するため、地域再生アドバイザーを交えた地域づくり市町サポート会議の開催
- ・地域再生アドバイザー等の専門人材の地域派遣



①人材育成

〔R5/R6実績〕

- ・市町職員階層別研修3~4回/年
- ・地域再生アドバイザー研修5回/年
- ・アドバイザー制度の見直し検討

市町職員等の階層別研修



〔R7予定〕

- ・行政向け職員階層別研修4回
- ・アドバイザー階層別研修5回
- ・アドバイザー制度の見直し案策定

②シンクタンク

市町職員等の支援者向け
地域づくり支援ツールの開発

R5	集落のワガゴト化ツール ①集落基礎データ集 (客観的な現状把握) ②集落マップ(現状と10年後の比較による見える化)
R6	支援者が見立てるツール ①支援者が見立てるツール (支援者の目線合わせ) ②集落の見立てカルテ
R7	集落のめざす姿実現に向けた支援ツール (集落特性に応じた支援手法の提示)

③外部人材活用

〔R5/R6実績〕

- ・関係人口拡大モデル事業効果検証
- ・マッチングイベント3回
- ・関東圏×関西圏大学合同イベントによる企画提案の実施

地域ふれあい旅プログラム (in洲本市)



〔R7予定〕

- ・関係人口拡大手法のあり方検討
- ・民間サービスとの連携強化

④市町サポート会議

市町×県×アドバイザー等による
相談対応や検討の場

〔R5/R6実績〕

- ・37市町と意見交換実施後、市町の個別課題をテーマにR5は9市町で、R6は7市町+財政支援など2テーマ全県対象に開催
→課題解決に向け県支援事業の活用や、市町の地域づくり施策の方向性が定まる等の成果

〔R7予定〕

- ・市町の要望に応じてテーマ別、県民局単位など複数市町、個別課題の解決に向け適宜開催

1 持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの推進

(4) プロジェクト強化事業（R7新規）

- ・プロジェクト推進にあたって課題となっている地域支援の人材不足対策を実施
- ・実施に際しては検討会を設置し、専門家等を交えて方向性や手法等を検討したうえで事業を推進

県支援事業

① 多様な支援機能モデル構築支援事業

② 地域づくり外部人材の活用促進事業

実施内容 (案)

- 多様な地域支援機能モデル構築に向けた調査-検討-実証-マニュアル策定→市町へ展開
⇒**地域支援機能の向上へ**
＜多様な地域支援手法の例＞
ア 他分野等（社協・NPO法人・JA）からの集落支援参画
イ 市町職員を主体とした関係者とのチーム支援体制の構築

- 外部人材募集PRコンテンツを作成やターゲットSNS広告等の実施
⇒**地域運営に係る外部人材の確保・活用へ**
＜コンテンツ・広告の例＞
若者などのターゲットに対し伝わる情報共有を図るため、ショート動画、民間サービス活用、SNS広告等を活用

2 高校生・受験生自習室プロジェクトの推進

○ 高校生・受験生自習室プロジェクト（R7新規）

（県の役割）

- ・ 公民連携の枠組みを活用し自習室が不足する地域を中心に設置を働きかけ
- ・ 全県の自習室の情報を分かりやすく提供

協力施設・席数（R7.4時点）

パターン	施設数	席数
県庁舎活用	3	101
大学連携型	7	726
企業連携型	23	271
計	33	1,098

（参考）市町設置自習室（R7.4時点）

市町数	施設数	席数
29	151	3,978

▼自習室マップ（R7.4時点 **5,076席**掲載）※HPイメージ



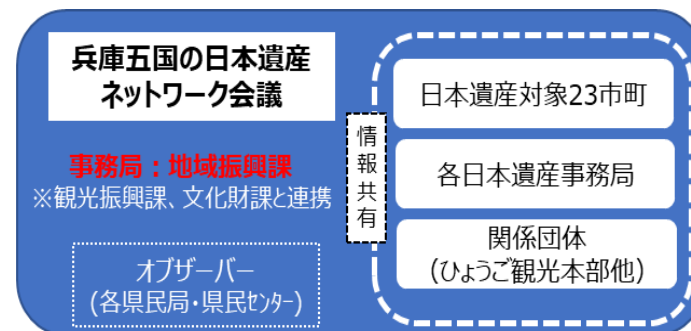
3 多様な地域資源の活用

(1) 日本遺産等の活用

① 日本遺産の活用促進

- ・全国最多9件の日本遺産が認定されている本県の強みを活かすため、県、関係23市町、関係団体で構成する県内日本遺産ネットワーク会議を運営
- ・構成団体間の相互交流や課題の共有、広域的な取組を推進

- ▶万博期間中に日本遺産シンポジウムの開催
- ▶兵庫津ミュージアム企画展「兵庫の日本遺産展」の開催(R7.10.11~11.30)



② 山陰海岸ジオパークの活用促進

- ・兵庫県、京都府、鳥取県など37団体で構成する推進協議会で取組みを推進
- ・令和4年12月に示された2年間の条件付き再認定の審査結果を踏まえ、必要な改善策を講じ、令和6年9月の再認定審査で4年間の再認定を獲得

- ▶兵庫津ミュージアム企画展「山陰海岸ジオパーク展」の開催(R7.4.19~6.22)
- ▶大阪・関西万博会場の催事場において展示イベントを開催(R7.9.24~26)



ユネスコ審査員による山陰海岸ジオパークの現地調査(R6.7.6~10)

③ 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組推進

- ・「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向け、兵庫県や徳島県など41団体で構成する協議会において学術調査及び普及啓発や、国・関係機関への働きかけを実施

- ▶万博期間中に国際シンポジウムの開催(R7.9.1)
- ▶大阪・関西万博会場の催事場において展示イベントを開催(R7.9.27~29)



青野運動公苑(ゴルフコース)

④ 青野運動公苑の利活用

- ・現行契約が終了する令和7年12月以降の利活用方針を、有識者等で構成する検討委員会での検討結果を踏まえ決定。民間売却に向け事業者を公募

[スケジュール] R7.3: 公募開始 R7.7提案審査 R7.9県議会上程 R7.12~新体制での運営開始

3 多様な地域資源の活用

(2) 兵庫津ミュージアムを拠点とした地域資源の魅力発信

- ・兵庫津ミュージアムにおいて、展覧会や各種イベント開催等を通じ、兵庫県の成り立ちや兵庫五国の魅力を発信し、県民のふるさと意識を醸成
- ・大阪・関西万博を契機とし、ひょうごフィールドパビリオンをはじめとする県内各地へ国内外の人々を誘う取組を展開

① 施設概要

区 分	兵庫県立兵庫津ミュージアム	
	復元施設：初代県庁館	展示施設：ひょうごはじまり館
開館日	令和3年11月3日（水・祝）	令和4年11月23日（水・祝）
規 模	延床面積：約498㎡（平屋建）	延床面積：約4,029㎡（地上4階建）
施 設 内 容	 ・現存する絵図等に基づき時代考証を行い、歴史空間を体感する施設として復元 ・復元を基本に、その範囲内で一部活用できるよう、利便性も確保	 ・歴史ミュージアム機能をもった県のPR施設として整備 ・千年の歴史を誇る港兵庫津の歴史、独自の過程を辿った県成立の歴史、変化・多様性に富む兵庫五国を展示
	・県庁舎 ・旧勤番同心屋敷（貸館） ・取次役所（カフェ・休憩所） ・旧船見番小屋（事務室） ・長屋門、仮牢、番小屋、腰掛	・1階 常設展示室、ダイナミックシアター ・2階 企画展示室、ライブラリー、展望テラス ・3階 研修室、事務室、収蔵庫 ・4階 機械室
運営体制	総務・企画部門：指定管理者 R4～R6 アクティオ株式会社／学芸部門：県 R7～R11 穴吹エンタープライズ株式会社／学芸部門：県	

3 多様な地域資源の活用

② 取組状況

○利用者数(R6年度)
※R6.4～R7.2

初代県庁館	41,686人
ひょうごはじまり館	76,413人
アウトリーチ活動	40,369人
計	158,468人

【参考】・月平均：約1万人 ※アウトリーチ活動除く
・年齢別割合：未就学児・小学生 19.7%、大人 63.0%、中・高・大学生・支援学校 17.3%
・アウトリーチ（出張展示、イベント出展）活動
ツーリズムEXPOジャパン2024（（公社）日本観光振興協会 主催）
魚河岸デー（神戸市中央卸売市場 主催）への出展 等

○集客対策

区分	主な取組
平日対策	小学生等の校外学習の受け入れ、小学生の県庁見学コース・中学生のわくわくオーケストラ教室（県立芸術文化センター）のセット見学先への組込
休日対策	集客力のある企画展の開催、ファミリー向けイベント（ワークショップ、むかしあそび、クリスマスジャズライブ等）の実施
共通	学芸員歴史講座、セミナー、共催イベント（こどものまち兵庫津※等）開催等

※兵庫五国の地場産業等の仕事体験イベント

○運営

▶ボランティアの受入れ

73名のボランティアを登録、初代県庁館ガイド・まちあるきガイドツアー等を担当

▶ミュージアムサポーター制度「兵庫津ミュージアム倶楽部」の運用
(登録者数：184名 ※R7年2月末現在)

常設展



校外学習



こどものまち兵庫津
(R6.12.14～15)

3 多様な地域資源の活用

○企画展の開催

- ・兵庫五国成立のルーツを踏まえ、五国各地の魅力を多彩な内容で発信
- ・講演会、ワークショップの開催、現地ツアー等を組み込んだ内容で実施

	テーマ	内 容	期 間	入館者数
R 6	温泉と西国三十三所巡礼	・江戸時代、人気の旅先であった温泉と西国三十三所の魅力と旅の軌跡を紹介	R6.4.27～R6.6.23	16,926人
	未来へつなごう！万博展	・万国博覧会と兵庫の歴史 ・大阪・関西万博、フィールドパビリオンの紹介	R6.7.20～R6.9.23	19,342人
	イワシとニシンと兵庫津の商人	・江戸時代の魚肥流通の紹介	R6.10.12～R6.12.8	17,603人
	1995.1.17から30年 あらためて知る阪神・淡路大震災	・震災30年のあゆみ	R6.12.21～R7.1.19	8,424人
	鳥瞰図絵師 青山大介物語	・鳥瞰図絵師の作品を通じた兵庫五国の魅力発信	R7.2.8～R7.3.23	7,272人 (2月末)
R 7 (予定)	地球時間の旅ー山陰海岸ジオパークへ行こうー	・山陰海岸ジオパークの魅力紹介 ・日本各地のジオパーク紹介	R7.4.19～R7.6.22	—
	兵庫五国の妖怪	・兵庫県内の妖怪伝承・水辺の妖怪を紹介	R7.7～R7.9 (予定)	—
	兵庫県の日本遺産	・県内日本遺産の魅力を紹介	R7.10.11～R7.11.30	—
	近代スポーツと兵庫県	・兵庫県における近代スポーツ発展の過程を紹介	R7.12.20～R8.3.15	—



未来へつなごう！万博展
(開会式・内覧会R6.7.19)



あらためて知る阪神・淡路大震災
(天皇后両陛下による御視察R7.1.16)



鳥瞰図絵師 青山大介物語
(開会式・内覧会R7.2.7)

○「兵庫学検定」の実施

- ・県民が兵庫の知識と愛情を深めることを目的として「兵庫学検定」を実施 (R7.8.3)
- ・テキストは「ふるさと兵庫魅力発見！(中学生副読本、兵庫県教育委員会編)」を使用

(参考：第2回 (R6.8.4) 実施結果)

▶受検者339名、合格者323名 ▶受検者の状況：受検者年齢層9歳～86歳、平均年齢：57歳、居住地：県内95% (うち神戸市内52%)